

電子工作に挑戦 相馬でキッズスクール



電子工作に挑戦する子ども

キッズ工作スクール相馬(中田稔代表)の今年度の「でんし工作教室」は三日、相馬市中央公民館で開かれた。

アルプスアルパインの共催。小学三年生から中学一年生までの十三人が参加した。子どもたちは「金属探知機」「メロディー時計」「ミニグランドピアノ」などから事前に好きなメ

ニューを選んで工作に挑戦し、約三時間かけて作品を仕上げた。自分だけの作品が出来上がると、うれしそうに笑顔を見せていた。

同教室は東日本大震災後の二〇一二年(平成二十四)年、被災した子どもたちのためにとアルプス電気相馬の社員やOBが中心となって始まり、現在も年に数回開かれている。

ものづくりの魅力味わう

子どもたちが電子機器の組み立てに挑戦する「でんし工作教室」は三日、相馬市の中央公民館で開かれ、参加者がものづくりの魅力を味わった＝写真。

キッズ工作スクール相馬の主催。アルプスアルパインの共催。小学3



年～中学一年の13人が参加した。

参加した子どもたちは同

社のOB・OG社員の手ほどきを受けながら、はんだごてを使って部品を組み立て、ミニグランドピアノ、時計などを完成させた。